
北海道浮魚ニュース

平成 15 (2003) 年度 16 号 (通巻 No.158)

2003 年 9 月 16 日

北海道立水産試験場

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期中調査結果

北辰丸 (釧路水産試験場調査船) によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

調査期間 : 2003 年 9 月 1 日 ~ 9 月 9 日

調査海域および調査点 : 道東太平洋における 7 調査点 (図 1、表 1)

(北緯 41 度 13 分 ~ 42 度 30 分、東経 142 度 57 分 ~ 146 度 00 分)

調査方法 : 9 種類の目合 (22,25,29,37,48,55,63,72,82mm) の流し網を用いた漁獲試験

漁獲試験を行った 7 調査点の表面水温は 13.3 ~ 20.9 、 100m 層水温は 1.7 ~ 11.8 でした (表 1)。

漁獲試験の結果は表 1 のとおりで、流し網調査 1 回当たりの漁獲尾数 (CPUE) の経年変化は図 2 のとおりです。

サバ類 (マサバ、ゴマサバ) は、3 調査点で 1 ~ 119 尾、合計 139 尾漁獲されました。CPUE は 19.9 尾/回で、前年の 114.9 尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。魚体は体長 16 ~ 24cm 台で、20 cm 台が主体でした。

マイワシ は、3 調査点で 3 ~ 899 尾、合計 907 尾漁獲されました。CPUE は 129.6 尾/回で、前年の 1.5 尾/回を上回り、近年の中では高い水準でした。魚体は体長 15 ~ 16cm 台でした。

カタクチイワシ は、6 調査点で 127 ~ 20,662 尾、合計 34,176 尾漁獲されました。CPUE は 4,882.3 尾/回で、前年の 901.1 尾/回を上回り、近年の中では最も高い水準でした。魚体は体長 10 ~ 14cm 台で、11 cm 台が主体でした。

サンマ は、7 調査点で 2 ~ 1,140 尾、合計 3,636 尾漁獲されました。CPUE は 519.4 尾/回で、前年の 203.3 尾/回を上回り、近年の中では最も高い水準でした。魚体は体長 15 ~ 34 cm 台で、30 cm 台が主体でした。

スルメイカ は、6 調査点で 2 ~ 575 尾、合計 761 尾漁獲されました。CPUE は 108.7 尾/回で、前年の 67.5 尾/回を上回り、近年の中では高い水準でした。

アカイカ は、7 調査点で 4 ~ 197 尾、合計 481 尾漁獲されました。CPUE は 68.7 尾/回で前年の 66.1 尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。

(文責 : 釧路水試 資源管理部、直通電話 : 0154-23-6222、FAX : 0154-23-6225)

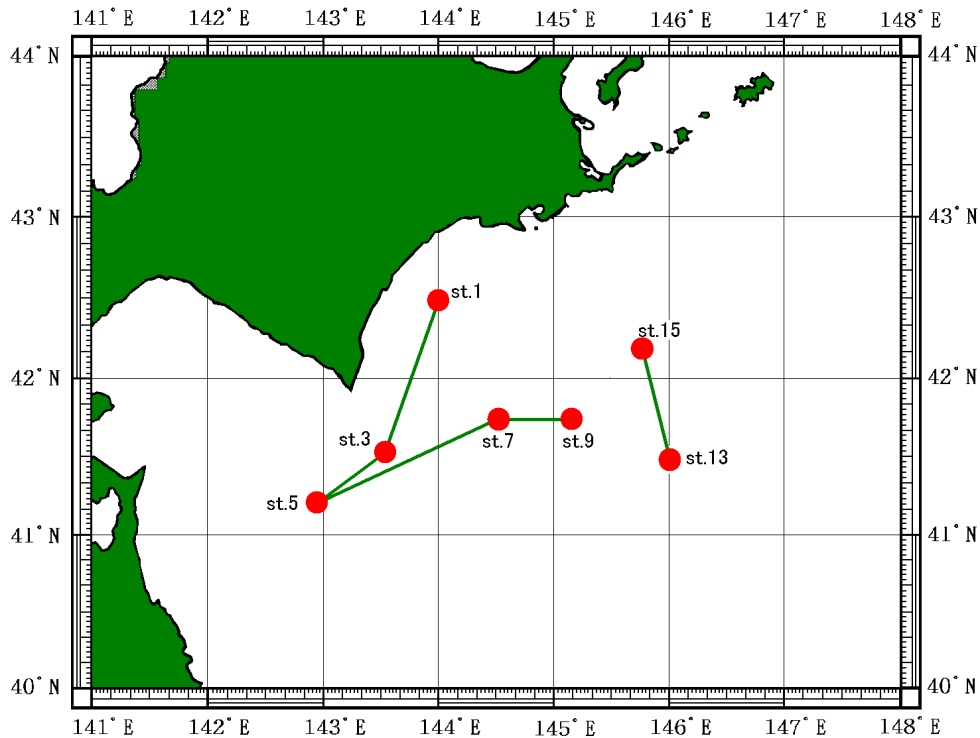


図1 漁獲試験調査点

表1 表面水温および魚種別採集尾数

調査地点	ST.1	ST.3	ST.5	ST.7	ST.9	ST.13	ST.15	合計
表面水温	13.9	16.0	20.9	18.0	16.3	18.1	13.3	
100m水温	3.1	2.6	11.8	3.6	1.7	1.3	1.7	
サバ類			1			19	119	139
マイワシ		3	5				899	907
カタクチイワシ		5,055	4,659	127	3,302	371	20,662	34,176
サンマ	1,032	9	2	1,140	582	335	536	3,636
スルメイカ	575	91		2	3	11	79	761
アカイカ	4	34	197	185	25	16	20	481

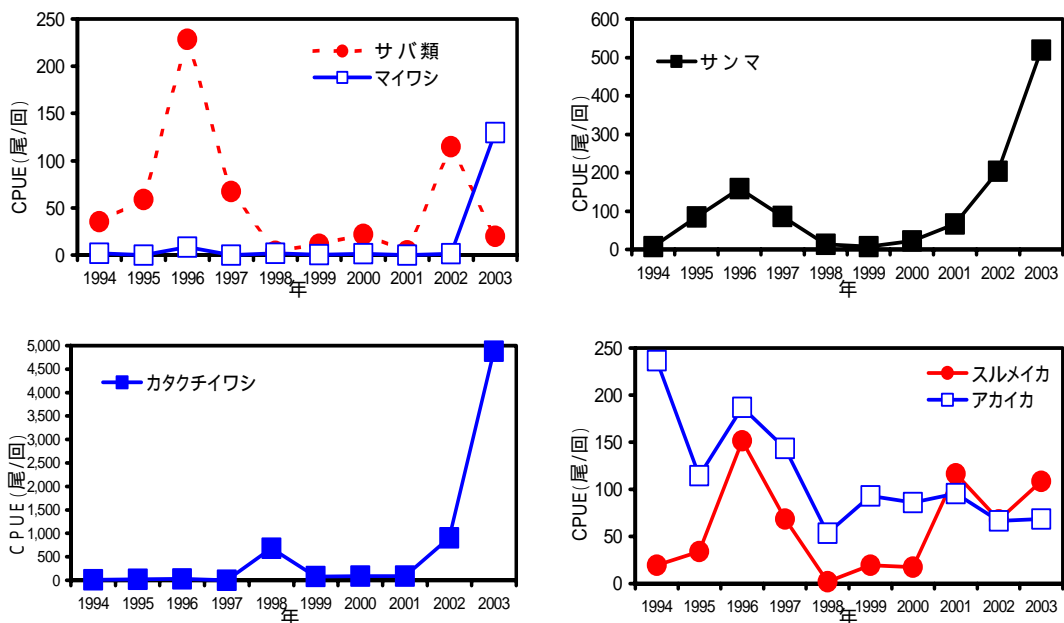


図2 流し網調査1回あたりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化